

おなかがすいたらどこでも食卓 路地裏でみつけた口福百食

# 『雲を呑む 龍を食す』

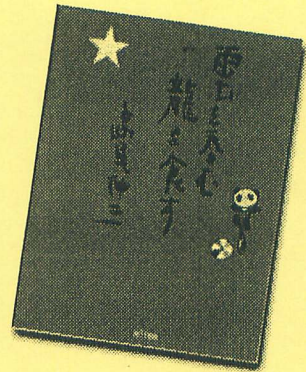
島尾伸三 著 潮田登久子 写真

(平成12年12月上旬発売 四六版並製 224ページ 定価(本体1600円+税))

高くてまずい物や肉ばかりを注文した貴方には、厨房から哀れみの視線が投げかけられることになりそうです。中国語だらけのメニューに一瞬ひるんでも、頭の中で山河や海を描く要領で皿を選べば失敗しない、とは著者の言。  
 本場のごちそうに舌鼓を打つのは旅の楽しみの一つです。けれど旅先で供される料理は地元の人だってめったに食べない「よそゆき」のもの。  
 では中国・香港・マカオの日常食ってどんなものでしょうか。ガイドブックで追跡できるのはせいぜい屋台まででしょう。答えは家々の台所、市場の路地裏、子供の遊び場にあるのです。  
 そんな不思議に答えていくことで、中国の人がなぜあれほど健康と長寿や富にこだわるのかを読み解けること請け合いです。2000年初夏の香港・中国取材で撮り下ろした写真を含め、20年にわたる集成の中から厳選した写真を多数掲載。  
 書店にてお手に取り、お買い求め頂ければ幸いです。ご友人へのご紹介もお願い申し上げます。なお、書店に在庫がない場合は、下欄ご記入の上お近くの書店にお持ち下さいませ。

## 【目次】

- 第一話 舌の記憶 思い出の味、この味で育ちました。
- 第二話 軽くご馳走 軽食なだけどネ、すごすぎ？
- 第三話 筵席の華 それは当然、料理が主役です。
- 第四話 大酒楼 厨房の様子、経営者の思惑。
- 第五話 年中行事 古人の願いも一緒に食べちゃう。
- 第六話 家伝の健康食 スープにはうるさい連中なのです。
- 第七話 農副産品市場 野生動物や珍獣もごちそうに。



## 島尾伸三(しまお・しんぞう)

1948年神戸市生まれ、奄美大島育ち。東京造形大学造詣学部写真専攻科卒業。  
 著書に、『ケンムンの島』、『ひかりのひき出し』、『マカオで道草』、『生活』、『季節風』、『月の家族』など多数。

<キリトリ>

貴店印	申込数	NTT出版 定価 本体1600円+税 ISBN 4-7571-5028-8	
		雲を呑む 龍を食す 島尾伸三著	
	冊	ご住所	
		お名前	TEL